

## 福井フォーラムのプログラム（ほぼ最終版）

名称（仮）：平成 19 年度斜面工学講習会

コンセプト：最新の知見や実践的な現場での対応方法などについての講習を行う。

福井県およびその周辺で発生する斜面災害に関連するような内容とする。

日時：2007 年 7 月 20 日（金） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

場所：福井市内 対象者：県・市・町・村の技術系職員、コンサルタツの技術者

プログラム：

13:30～13:35 開会に当たって (財) 福井県建設技術公社 ●●

13:35～14:05 福井県における土砂災害の事例

福井大学 荒井克彦

14:05～14:35 岩盤崩壊の予測 応用地質株式会社 上野将司

北海道での落石個数による予測方法など、いわゆる教科書に載っていない実践的な対応方法について。福井県内にも岩盤崩壊の危険箇所は多い。

14:35～14:45 休憩

14:45～15:15 地震時の宅地盛土の変動予測 京大防災研 釜井俊孝

地震による造成地内の盛土変動という新しい知見について。造成地内だけでなく、道路の沢埋め盛土にも同じ原理が当てはまる。山岳地の緊急輸送道路の問題でもある。

15:15～15:45 新潟県中越地震の山地斜面災害と自然環境 環境地質 稲垣秀輝

地震による山地斜面災害を、地質や自然環境面と関連させて説明。「土砂災害学習マップ」についても触れる。

15:45～16:00 斜面工学について 斜面工学研究小委員会 委員長 後藤 聡

「新しい斜面工学」は単に機能的な防災面だけでなく、景観・環境や維持・保全の観点も含むことについて説明

平成 19 年度に福井県建設技術公社さんとの技術講習会概要（2007.5 時点）

- ・福井県担当 坂田氏（委員）、山木氏（会場・申込等事務関係）
- ・土木学会担当 太田委員、後藤委員長（Q&Aの本の段取り）
- ・公社主催、学会後援とする
- ・講師謝礼、交通費、会場費等は公社が負担する
- ・講師依頼の根回しは学会内で行う・・・終了
- ・講師依頼の文書手続きは公社が行う
- ・学会で図書販売（Q&A）を行なうが、任意購入とする
- ・テキストは講師が作成して、公社で印刷する  
（著作権の問題から斜面の本をコピーして、テキストにはしない）
- ・対象者は、県・市・町・村の技術系職員、コンサルタツの技術者
- ・参加人数は、おおよそ 80 名～100 名
- ・翌日に現地視察を計画（担当 上野委員）